

ITALIA

Italian Trade Commission
イタリア貿易振興会

Tokyo, 16/06/2011
P 165201102211

Agroalimentare/Balmas/Sakamoto/Yoda
tokyo@ice.it
T +81 -3 3475-1401

プレス リリース



**「第 16 回 VINEXPO 2011」にイタリア貿易振興会が参加
ワインが語るイタリア統一 150 周年
出展社数 90、展示面積 800 m²、開催セミナー数 16**

ジャーナリスト／関係者様各位

出展イタリア企業の数 90 社。総展示面積 800 平方メートル。トップクラスのワイナリー 96 社。セミナーの数 16。これらはボルドーで開催する「第 16 回 VINEXPO 2011」におけるイタリアに関連する数字です。業界の世界的な催しであるこの国際ワイン見本市にイタリア貿易振興会は、例年どおりイタリア企業の合同出展を主催するとともに、メイド・イン・イタリアのワインに関する一連のセミナーを開催します。「ボルドーではイタリアワインがイタリア統一 150 周年を物語ります」と述べるのは当会会長のウンベルト・ヴァッターニ。

数千年におよぶ歴史を誇るイタリア。音楽の国イタリア。600 以上の地域がユネスコの世界遺産に認定され、芸術と創造の舞台イタリアは、今年度は 4 つのテーマをもとに、世界的に著名な講師を迎えて一連のセミナーを開催します。これらのセミナーは、ワインの歴史と深い絆で結ばれたイタリア史における重要な時期を振り返るものです。

イタリアの歴史とワインが織りなす関係は何世紀にもわたって、イタリア史上重要な価値をもつさまざまな場面を作り出し、ライフスタイルの変遷の証となってきました。

イタリア貿易振興会主催のその他の催しとしては、イタリアの 12 の大学と共同で行う「プロジェクト MAGIS」が予定されています。これは新たな生産モデルの策定を行うもので、環境への配慮、特に生産の環境適合性が中心課題となります。これは世界中の消費者にとってさらに大きな価値を作り出し、現在と未来をつなぐもう一つのささやかな礎石となるものです。



この世界最大のワイン見本市「第16回 VINEXPO 2011」では、イタリアは国家統一150周年を祝います。またイタリア貿易振興会は今年90社が出展するイタリアン・パビリオンのオーガナイザーを務めるとともに、「ワインが語るイタリアの歴史」と銘打ったセミナーを開催し、イタリアワインについての新しい知識や、新たな解釈とコミュニケーションの手がかりを提示し、より文化的な側面を強力にアピールすることによってグローバルな市場で一層の理解を図ります。

国際的に著名な講師を招いて行われるセミナーの下記4つのテーマは、受講者の方々にイタリアワインの熱い感動を与えるでしょう。

- ・イタリア、3000年の歴史
- ・イタリア、音楽の国
- ・イタリアの歴史と芸術の遺産（44を超えるユネスコ世界遺産）
- ・イタリアのコムーネ（市町村）と州

数千年におよぶイタリア社会の歴史は、常にワインの歴史と固く結びついてきました。セミナーでは、イタリアのライフスタイルの進化を語るうえで特に意義深い時期をワインの歴史とともに取り上げ、そうした重要な時代を振り返ります。

今年、ボルドーを訪れる予定をお持ちの方、あるいは「第16回 VINEXPO 2011」でのイタリアワインの全プログラムに関する情報をもっとお知りになりたい方は、下記の公式HPをご覧ください。

公式HP：<http://www.vinexpo.com/>

セミナープログラム：<http://www.terroirsditalie.com/Events/VINEXPO2011/Degustations.aspx>

またイタリアの出展に関してさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記までメールにてお問い合わせ下さい。

- イタリア貿易振興会 ローマ本部
- ワイン・飲料部門担当： ステファノ・ライモンディ（Stefano Raimondi）
- E-MAIL: vini@ice.it

敬具

イタリア貿易振興会
東京事務所 所長

フェデリコ・バルマス
(Federico Balmas)